

No.1039(二〇〇九年一月一日号)から
No.1062(二〇〇九年二月一五日)まで

No.1039(二〇〇九年一月一日)

◇巻頭言◇ ファシズム前夜

死して静かな日本人：

―松田昌士・「私の履歴書」(日経)から―

春闘方針はさらにわかりにくくなった

―〇九春闘と彼我の方針―

アメリカ発金融危機は世界恐慌へ

―犠牲は労働者・勤労国民へ―

京都の大美堂「六・二七」不当解雇撤回闘争

白井市長に雇用安定責任

―武庫川ユニオン尼崎市分会のたたかい―

「雑草のごとく強く」(稲村稔夫著)のすすめ

資本による労働組合破壊攻撃

―労働組合入門(四)―

読者からのおたより

編集部だより

滝野 忠

赤峰 正俊

編集部

奥田 雅雄

武庫川ユニオン

相田 邦夫

山下 俊幸

No.1040(二〇〇九年一月一五日)

◇巻頭言◇ 資本の論理と労働組合

キューバ革命五十周年

会社への批判なくして、国労への共感はない

―第一二二回国労上野支部大会でのA代議員発言に学ぶ―

代休が取れない、人員が足りない

―職場交流 労働条件についてから―

タバコ一本でC評価

―人事院に「不服」申し立て―

国家的オレオレ詐欺

―「どいつもこいつも盗っ人であり汚職屋だ」―

資本の労働者分断策、昇進試験

―労働組合入門(五)―

読者からのおたより

編集部だより

滝野 忠

編集部

六津 五郎

山下 俊幸

No. 1041 (二〇〇九年二月一日)

◇巻頭言◇ 職場を知らない官僚の自己満足

宮坂 要

— その陰で一〇四七名の二十二年におよぶ苦闘— 松田の『私の履歴書』

西村 昭

— 本場の労働組合運動を見た—

権力者の「おごりとアセリ」

濱崎 忠晃

— 論文「日本は侵略国家であったか」—

「解雇・「派遣切り」と闘う」「反抗」を組織しよう (一)

稲村 守

千葉常義さんを悼む

滝野 忠

解雇撤回・十五年の闘い

山下 俊幸

— 労働組合入門 (六) —

読者からのおたより

No. 1042 (二〇〇九年二月十五日)

◇巻頭言◇ 厳しい情勢だからこそ

私鉄労働者

資本主義的蓄積の一般的法則により労働運動の高揚を

稲村 守

— 解雇・「派遣切り」と闘う」「反抗」を組織しよう (二) —

私たちの組合強化策

— ひょうご地域労働運動連絡会—

編集部

オバマ就任から二週間

編集部

— アメリカはどこへ? —

恐慌と資本の論理

滝野 忠

— 〇九春闘と彼我の方針—

読者からのおたより

編集部だより

No. 1043 (二〇〇九年三月一日)

◇巻頭言◇ 「ポスト新自由主義」とはなにか

原 野人

「憲法を生かす政治」実現めざす

原 義弘

恐慌の原因

丸江 麗

エルネスト・チェ・ゲバラ

武庫川ユニオン

ユニオン運動が共鳴

武庫川ユニオン

— 二つの分会で大勝利—

「年越し派遣村」村長を滋賀に迎え

稲村 守

— 湯浅誠氏「これでいいのか日本！」を熱く語る—

現代社会と産業予備軍

滝野 忠

— 大量失業時代が始まった—

読者からのおたより

編集部だより

No. 1044 (二〇〇九年三月一五日)

◇巻頭言◇ 難病の妻を抱える保坂貢さんの配転を

保坂さんを転勤させる会

N T Tは「介護休業法」を守れ

うれしいこと―ハンセン病差別に思う

稲葉 耕一

―架け橋 長島・奈良を結ぶ会―

「派遣切り・期間工の雇止め」と対決

稲村 守

―全国の支援を今こそ―

社会主義を展望する労働運動

宮川 敏一

総力をあげて三月闘争へ

編集部

―一〇四七人問題解決へかく闘う―

いざ主戦場へ!

中野 勇人

人間の価値がない社会 ―首切り記念日―

赤峰 正俊

読者からのおたより

No. 1045 (二〇〇九年四月一日)

◇巻頭言◇ 「資本の手を縛る」

滝野 忠

現代資本主義と株式会社

〇九春闘 連合、全労連の「決起集会」から

編集部

労働運動の再生を問う ―反撃の条件 「還流制度」―

大山 三郎

どうする恐慌 ―労働者はいかにたたかうか(一)―

伊勢 太郎

三月二五日判決 ―鉄建公団東京高裁裁判―

景気後退がグローバル化するなかでの雇用減少

―世界中であらゆる部門の労働者が影響下に―

北畠 清仁

ゲバラ 少し気がかりなコメント

北畠 清仁

読者からのおたより

No. 1046 (二〇〇九年四月一五日)

◇巻頭言◇ 判決は残念、しかし私たちはくじけません

千葉 真貴子

裁判闘争と併行し、政治解決を求める

国労音威子府闘争団

―控訴審判決を受けて―

闘いの矛は絶対に納めない

鉄建公団訴訟原告団

―鉄建公団東京高裁判決に対する声明(〇九年三月二五日)―

闘いや 夢と ロマンと 愛が ある!

―大美堂争議の新たな連帯を創り出す大集会―

資本主義はどこへ?

小林 晃

恐慌と資本主義社会 ―恐慌「克服」への二つの途(二)―

伊勢 太郎

連合春闘の枠組み打破が課題 ―〇九春闘総括に向けて―

私鉄労働者・K

自民・民主連立政権の可能性

―ワークシェアリング「五原則」―

生産性向上の手段となったワーク・シェアリング

一緒に闘いもう一人の自分をつくろう ―郵政労働運動の現状と課題― 川越 俊巳

読者からのおたより

No.1047 (二〇〇九年五月一日)

◇巻頭言◇ 医療・教育大国の「秘密」

― キューバ革命五十年 ―

賃金論、生産性向上運動への姿勢

― 〇九春闘の一総括 ―

カリブ海の国際主義と亜熱帯の大らかさ

― 全労協キューバ訪問団、革命五〇周年の国へ ―

恐慌の必然性

― マルクスの理論は現下の経済危機(恐慌)の分析に役立つか？

『ノイエス・ドイッチュランド』(三月二三日) ―

真に恐慌を解決する途

― 今、なにが問われているか (三) ―

読者からのおたより

滝野 忠

編集部

名古屋 哲一

訳・原 八峰

伊勢 太郎

No.1048 (二〇〇九年五月一日)

◇巻頭言◇

職場の若者に闘いと団結を伝える

― 国鉄分割民営化 (JR発足) 時の不当労働行為認定の大きな意味 ―

施しものはいらない

― オバマの提案とキューバ ―

マルクスの理論は今に生きている

― 恐慌の必然性 (二) 「ノイエス・ドイッチュランド」から ―

現実を理想に引き上げよう

― 山下けいきからあなたへの手紙 ―

多忙化、時間外労働で悪循環

― 滋賀県教組実態調査から ―

あいば野に秘密裏にPAC3搬入

― 防衛省の卑怯なやり方に強く抗議 ―

これからの労働運動の焦点

「派遣切り」を許すな!

― 労働者は物ではない 広島からの報告 ―

地方の ささやかで 大きな変革!

― 市長選で勝った 大分県豊後大野市から ―

読者からのおたより

滝野 忠

訳・原 八峰

山下 けいき

山下 けいき

山下 けいき

山下 けいき

土屋 信三

赤峰 正俊

No. 1049 (二〇〇九年六月一日)

◇巻頭言◇「フツ―に働きたい!」「フツ―に生きさせろ!」

被災地(神戸)メーデー・アピール

「青空派」と「炎派」

編集部

―憲法六二歳の「社説」から―

◇投稿◇ 道州制導入 モデルが社保事務所

―社会保険事務所の現状―

新たな政治文化を体現

相田 邦夫

―貧しくとも心豊かな国「ビバ・クーバ」―

労働組合をつくりました

タイヨウデンシ分会

―僕の一月・二月の給料は、八万円ほど―

総選挙は「マゴマゴ」決戦

判決は六月十一日

増田 都子

―犯罪都教委、三悪都議とのたたかい―

「共産主義を清算すること、それが私の大望でした」

訳・富山 栄子

―トルコでのゴルバチョフの演説―

恐慌、資本主義、そして社会主義

滝野 忠

読者からのおたより

No. 1050 (二〇〇九年六月十五日)

◇巻頭言◇ 規制線を取っ払え! この社会と闘う

アメリカの現実

滝野 忠

改悪教員免許法の廃止を訴える

西村 昭

地元大学で予備講習を受けて

広瀬 直弘

―教員免許更新の実態―

新しい酒にふさわしい、新しい革袋とは

花井 吉宅

―ヨコにつながる組織づくりを―

GM(ゼネラル・モーターズ)破たん

編集部

総選挙まであと二ヶ月

伊勢 太郎

―民主党はどこまで勝てるか―

◇資料と解説 日本経団連第十回総会「決議」◇

意地汚くなる大企業 国家の利用

◇資料◇ 政策を総動員して成長軌道に回帰する

二〇〇九年度日本経団連総会決議(二〇〇九年五月二十八日)

読者からのおたより

No. 1051 (二〇〇九年七月一日)

◇巻頭言◇ 社会主義と資本主義

伊勢 太郎

「人間を大事にする」資本主義つて
法匪うごめく魔界からの報告

六津 五郎

― 6・11 不当判決 増田都子原告、分限免職撤回訴訟 ―

◇資料◇ 東京地裁不当判決に抗議する(〇九年六月十一日)

今、職場では ― J R 東日本の職場状況から ―

これが中国人研修生の実態です

神戸ワーカーズユニオン

― 研修生・趙衛華さんの報告 ―

「足利事件」を支えつづけて

稲村 守

資料 今の心況(菅家さんからの手紙・抜粋)

今、日本の労働運動は ― 労働戦線再編成から二十年(二) ―

編集部

読者からのおたより

No. 1052 (二〇〇九年七月十五日)

◇巻頭言◇ 政権交代?

大鷲 白

ある市での市長選挙結果とその後

古典を読む ― 最近の学習会から ―

滝野 忠

職員の疲労は増す一方

― マニュアルがあっても人がいない ― 新型インフレ現場レポート ―

「がんばれく会」でも作ろうか

川越 俊巳

― 郵政職場の実態から ―

相模鉄道労組、会社社化問題でスト決行

原 均

― 労使協議確約で一時間半後に解除、本格的な話し合いへ ―

連合労働運動の実態 ― 労働戦線再編成から二十年(二) ―

次の計略 政府をGM重役室から遠ざける

― 自動車メーカーの利害と政治的現実はほどなく衝突する ―

読者からのおたより

No. 1053 (二〇〇九年八月一日)

◇巻頭言◇ 都議選から政治を考える

伊勢 太郎

「内定通知」交付 ― 正規でなく準職員 ―

社保庁労働者

消費者から見た食と農(二)

― 鶴岡市市制研究会講演会(〇九年二月) ―

畠山 勝巳

妥結見解 相鉄労働組合執行委員会(二〇〇九年六月二十九日)

会社分割でストライキ

連合労働運動の実態 ― 労働戦線再編成から二十年(三) ―

読者からのおたより

No. 1054 (二〇〇九年八月一五日)

◇巻頭言◇ 評価制度について

ねらいは物言わぬ教員づくり

社員の意識改革 ―今、職場では(二)―

食の安全・安心 ―消費者から見た食と農―

米軍「撤退」の虚構 ―イラク情勢のゆくえ―

労働運動の再生を地域労働運動から考える

読者からのおたより

相沢 瑞男

畠山 勝巳

伊勢 太郎

中村 平治

No. 1055 (二〇〇九年九月一日)

◇巻頭言◇ K O B Eからもう一つの選択

二大政党にくみしない力を

「上見て暮らすな、下見て暮らせ」―現在と思想状況―

キューバへの期待

新しい政治文化をつくりだした ―キューバ革命の五十年―

オノンボバスとサルサ、思想闘争

―キューバ訪問記―

量的拡大から質的転換へ

―労働運動の再生を地域労働運動から考える(二)―

駅職場での意識改革事例 ―今、J Rの職場では(三)―

読者からのおたより

「新社会兵庫」

羽川 健治

小林 晃

滝野 忠

鈴木 賢二

中村 平治

No. 1056 (二〇〇九年九月一五日)

◇巻頭言◇ 民主党政権と連合

Fool's gold 黄鉄鉱

自民党大敗―これからの政治・経済そして課題

―焦点は「脱官僚政治」と支持基盤づくり―

「新しい日本の資本主義」の誕生?!

―労働戦線再編成から二十年(四)―

◇投稿◇ 政権交代私たちの課題

読者からのおたより

「10・25団結まつり」にご参加を

滝野 忠

クルーグマン

伊勢 太郎

編集部

No.1057 (二〇〇九年一〇月一日)

◇巻頭言◇ ○九春闘の教訓

鳩山連立政権のゆくえ

「政府は国鉄労働者1047名問題の解決決断を！」

非正規連帯！俺たちを人間らしく扱え！ 関西サイクルキャラバン

現代経済と労働運動 ― 恐慌論 再論―

オバマのアメリカはどこへ行く(上)

大胆な護憲候補の共同闘争展開を

― ○九衆院選挙結果からこう考える―

◇資料 新内閣に望む(日本経団連 九月一五日)

強力なリーダーシップを期待

◇資料 21世紀臨調が緊急提言(九月二日)

政党政治は「新たなイノベーションの段階」へ

読者からのおたより

滝野 忠

No.1058 (二〇〇九年一〇月一五日)

◇巻頭言◇鳩山民主党代表の安全保障に関する改憲論

指導力が問われている

― 原和美選挙から小選挙区・二大政党政治を考える―

約束守ってよ、鳩山さん

― 闘争団の上京行動は九月末から開始―

三本柱はまさに命のかかった問題

公務員労働者への責任転嫁は理不尽

― 一般の職員のボーナス引き下げに反対討論―

◇投稿◇一週間で四人教師倒れる いま教育現場では

「ヤミ専」問題の本質を撃つ

10年春闘 同一労働同一賃金と均等待遇

世界観欠く民主党 ― 民主党政権のゆくえ(二)―

読者からのおたより

澤野 義一
松枝 佳宏

国労紋別闘争団

田島 省三
山下 けいき

西本 章

伊勢 太郎

No.1059 (二〇〇九年十一月一日)

◇巻頭言◇安全問題は資本主義の業病

第四六回・三池大災害抗議集案内

民営化がもたらす弊害

積み重ねてきた成果を武器に

― 最大・最高のチャンスを活かし、勝利解決を勝ち取ります―

国鉄闘争勝利をめざす関西サイクルキャラバン

― 10・6京都受け入れ街頭宣伝行動成功!―

◇投稿◇ 岐阜からの報告 長良川河口堰の今

10春闘 「上げ幅」から「絶対額」へ

分会活動活性化が現場の課題 ― 今年の国労各級機関大会を振り返る―

読者からのおたより

国労名寄闘争団『闘いの砦』

稲村 守

赤峰 正俊
河合 国広

編集部

No. 1060 (二〇〇九年一月十五日)

巻頭言◇ 団結まつりと『沈まぬ太陽』

心のふるさと 旧向坂邸とりこわし

闘いには「絆」作りが必要

民主党の階級的基盤とゆくえ

オバマ来日 ―「自由の女神」のウソ―

10年春闘 「JC共闘」から「共闘連絡会議」へ

車掌二百人が消えた ―東京メトロ丸の内線ワンマン化―

民主党政権 過大な期待は禁物

民主党の試金石 一〇四七人問題

読者からのおたより

花井 吉宅

滝野 忠

伊勢 太郎

編集部

山下 けいき

赤峰 正俊

No. 1061 (二〇〇九年二月一日)

◇巻頭言◇ さあ、いよいよ解決に向けた詰め段階だ！

取り組みの重点は一一・二六集会

鳩山「友愛」論 ―政権交代・雑感―

フランス 職場の焦点となる自殺問題

―労働者はリストラのストレスにさらされている―

天皇制度を問う

◇資料と解説◇

「同一労働同一賃金」の主張について

「同一価値労働、同一賃金」主張の欺瞞を明らかに！

◇資料◇ 第6次賃金政策の具体的内容 (電機連合)

賃金制度に対する基本的な考え方

G7の歴史的役割終焉 ―ベルリンの壁崩壊から二十年―

読者からのおたより

国労紋別闘争団

小林 晃

ニューヨークタイムズ

立花 創験

N関労

編集部

No. 1062 (二〇〇九年二月十五日)

◇巻頭言◇ A君への手紙

政府・鉄道運輸機構は決断を！

―十一月二六日の集会から―

鳩山幹事長 (当時) 発言 (〇九・二・一六)

解決のためにがんばります

十年春闘 連合はやくも敗北宣言

―生産性三原則のつけ―

日本航空の経営危機の原因について

―日本航空再建問題 (航空労組連絡会 〇九・十一・二六、要旨)―

韓国労働運動に熱い視線と連帯を

―民主労総と韓国労総が歴史的共同闘争へ―

「心の病」の原因は職場にある

―何でも話せる仲間をつくろう 疲れたら休める職場にしよう―

読者からのおたより

山下 俊幸

音威子府闘争団

編集部

佐野 修吉

労働大学峡東講座